聖市コンデデサンジョアキン街九十三番地
郵函二七六五
發行所　聖州新報社
發行人　香山露子
購讀料　一年四十錢
廣告料　一段七二錢
NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa, 2765 - Fone 7-0447
R. Conde de S. Joaquim, 93
São Paulo-Brasil

國際情勢緊迫化に對應
防空施策に万全を期す
定例閣議で根本方針決定

【東京十日同盟】政府は現下の國際情勢に鑑み國土防空強化を計る爲、陸海軍及び内務の三省で防空施策を協議、根本方針を決定したので、十日の定例閣議で東條陸相より左の如き「國土防空強化に關する件」を説明し、これを正式決定した

依つて政府は直ちに同方針に基き、關係三省に於て具體的實施細目を決定すると共に、十六年度物動並びに資金の兩計畫に於ても、防空關係資材、資金等は優先してこれを供給し國土防空施策に万全を期することゝなつた

一、時局に鑑み、緊急必要なる防空施策を行ふ、これが爲、必要なる資金及び資材に對し、自他の重要問題と密に調整を計る

二、今后總ゆる施策には强度に防空上の要求を透徹、具現す

增大する空への關心
國土防空强化に關する件

航空機の發達に伴ひ、直接國内要衝に對し、絶大なる武力戰的破壞行爲を擅にするに至り、他面我が國防空體制の現狀は不備、欠陥頗る多く、加ふるに都市の防空羸弱性大なるものあるに鑑み、高度國防國家體制確立の爲、速かに國土防空の强化を計り、左記事項を實施す

翼賛會本部機構を改組
内容强化を決意
高度政治性堅持にまい進せん

【東京十日同盟】翼賛會では改革して内容を强化し、會結小畑企劃局長の辭意表明を契機として、本部機構の整備、改組を行なふ決意を固め、來る十三日の常任總務會で翼賛會豫算の審議と共に改組問題も協議することとなつた、而して本部側の改組方針は大體翼賛會本念の性格に鑑み、國家機構と對立するかの如き誤解を生じ易い企劃局及び政策局を統合して一局となす外、連絡部その外の機構をも廢合成當初の既定方針たる高度政治性堅持に向ふべきであるとして

議會再開を前に政府對策を練る

【東京十日同盟】政府は議會法制局長官が隨時會合、打合への對策、連絡等に就き各種せを行なふことに決し、その方法を考究してゐる、その第一回を首相官邸に於て開催一方法として秋田拓相、金光先づ議會運營の一般的問題に厚相、田川鐵相の三閣僚を主として、富田書記官長、村瀬連絡部その外の機構を廢合

米海軍戰時体制へ
艦隊編成替へ斷行
アジア戰隊も艦隊に昇格

【ワシントン八日同盟】米海軍は二月一日以降大西洋、太平洋、アジアの三大艦隊の編成替へをなすこととなり、ノックス海軍長官は八日米海軍勢力をもつてこれは二月一日をもつて米艦隊を太西洋、太平洋、アジアの三編隊に編成替へを行ひ直ちにこれを實施することになつたと言明した、右は從來哨戒艦隊の地位にあつた大西洋艦隊を含めて千三百機である、一、一九四〇年に於ける空軍擴張實績は四百四十機である、一、一九四〇年十月中の生産實績は百機、十一月は百十九機、十二月は百七十一機である、一、一九四二年一月一日までには航空機數は六千二百七十四機を含めて千三百機である、一、一九四〇年に於ける空軍擴張實績は四百四十機である、一、一九四〇年十月中の生産實績は百機、十一月は百十九機、十二月は百七十一機である、一、一九四二年一月一日までには航空機數は六千二百七十四機を豫定せられてゐる

軍少將が昇格

一、アジア艦隊司令長官には現アジア戰隊司令長官ハート提督が昇格する

以上何れも二月一日に發令する、なほ右編成替へに關しノックス長官はこれをもつて、「現實の情勢に即應した編成である」と前提し、新聞記者圖と左の如く一問一答した

問　米海軍はアジア艦隊を增强する意向を有するか

答　さし當つて考慮してはゐない、太西洋艦隊の現有勢力を目下のところ變更はしない

問　太平洋における春季演習中止には變りはないか

答　變りはない

なほノックス長官は個人的意見として

余は今後さらに驅逐艦を英國に讓渡する意志はない、かかる結果は米艦隊の勢力に著しき支障を來すことになりうるからと答へた

米海軍
主腦部移動

【ワシントン九日同盟】米海軍新編成に伴ふ海軍主腦部の移動は八日ノックス海軍長官から左の如く發表された

アナポリス海軍兵學校長
海軍少將ウヰルソン●ブラウン
任太平洋艦隊索敵部隊司令官
海軍情報局長、海軍少將ウオルター●アンダーソン
任太平洋戰闘部隊戰艦戰隊司令官
艦隊訓練部長、海軍少將ハーバート、レアクー
任太平洋戰闘部隊巡洋戰隊司令官
巡洋艦隊第五戰隊官令司令官
海軍少將ジョン●ニュートン
任太平洋索敵部隊巡洋艦戰隊參謀長
海軍少將アイザック●キッド
任太平洋戰闘部隊戰艦戰隊第一戰隊司令官
メアーランド海軍工廠長海軍少將、デビッド●バーグレ
任太平洋戰闘部隊戰隊第二戰隊司令官
聯合艦隊參謀長、海軍少將シャーウッド●タヘキング
任太平洋戰闘部隊巡洋戰隊第五戰隊司令官
戰艦戰隊第二戰隊司令官、海軍少將、ウオター●バーノウ
任太平洋岸監察委員長

米海軍機增加計畫に
惱みの發動機製作
海軍航空局長製作狀況並に製作遲延原因を説明

（ニューヨーク八日同盟）海軍航空局長タローズ少將は去る七日の下院公聽會に於て海軍航空機の製作狀況並びに製作遲延の原因に就き證言を行ひ、航空機生産の遲延の實情を説明したが、八日のニューヨーク●タイムス紙は右タローズ局長の證言に關し、左の如き詳報を傳へてゐる

米國の發動機生産高は着々增加しつつあるが、需要がこれにも增して多い爲、發動機の供給は到底充分とはいへない、我々にはより以上の發動機製作工場設備が必要である、而して現在必要なる發動機生産設備を擴張するには、即ち我々が必要とするだけの發動機を生産するまでに、生産力を擴充するには一ヶ年間を要すると思ふ、發動機生産促進の方策に就いては從來から余り努力が拂はれてゐなかつた次第である、次に參考までに海軍擴張二ヶ年計畫の大樣を述べれば、一、議會が今日まで協賛を與へた擴張豫算は總額七億八千五百萬ドルである、一、現有航空機數は一九四〇年一月一日當時の二千百四十機から一九四一年一月一日現在までに二千五百九十機に增大してゐる、一、一九四二年一月一日現在までの航空機擴張豫定は六千八百二十二機で、その中一部分は同年に購入される事になつてゐる、一、契約未了の航空機は最新鋭戰闘機三百二十

日商東商會頭八田嘉明
突如辭意表明
後任に藤山外二氏が有力

【東京十日同盟】日本商工會議所並びに東京商工會議所會頭八田嘉明は十日午前開かれた東商役員會で突如辭意を表明した、辭任の理由は

一、會頭就任當初より任期を可及的短期間に止めたき意思を表示してゐたこと

一、來る二月の議員改選期をひかへ、事前に辭意を表明することが、次期會頭選任上不要の摩擦乃至手續上の煩鎖を回避し、事態を円滑に推移せしめること等を擧げてゐるが、後任會頭の近作を集めた海の勇士慰問集と共に近く前線、病院等に配布することになつた

海に者勇の
女流作家が……慰問作品集

【東京十日同盟】海の勇士に贈らうと美川喜代女史等は九日海軍省を訪れて十人の女流作家の近作をあつめた「女流作家十佳選」五百部を献納してきたので同省では「輝く部隊」

比島政府・米の指金で
英會社所有島統治權要求
南洋軍事要地に米の食指

【マニラ九日同盟】當地ヘラルド紙の報道によれば、比島政府は從來英國の北ボルネオ會社に屬してゐたボルネオ島北岸タートル群島及びマングシー群島に對する統治權を要求すべく、既に比島國防省に對し、兩島に關する比島の權利を證明すべき書類の提出を要求、着々準備を進めてゐると謂はれる、而して右兩島領有に主動的立場をとれるは米本國政府で、目下セイヤー高等辨務官のパラワン群島視察旅行も同問題に關係するものと見られ、右兩群島が南洋諸島中に於て軍事的に重要地點と目されてゐるだけに、これが統治權取得問題の進行きは極めて注目に値す

としては藤山愛一郎（東商副會頭）松本健次郎（日本石炭社長）井坂孝（東京瓦斯社長）の諸氏が有力である

戰時下に備へて
厚生省に職業局設置
初代長官に加藤部長昇格

【東京十日同盟】戰時下に於ける勞務者對策化中小工業者の轉業對策問題各般の行政運營の統轄を期する爲、厚生省では職業部と失業對策部とを統合して職業局を設置することとし、準備を進めてゐたが十日右に關する厚生省官制中改正の件が公布され、いよいよ職業局が實現、初代局長官に現職業部長内藤寛一が昇格した

その極に達し、舊臘來跳梁、白昼及び文昌縣、大坡市附近に於ける昨年中の綜合戰果次の通り

敵遺棄死體、二八八五四
捕りよ、七六五二　ろ獲品
山砲その他多數

【上海九日同盟】昨年中の揚子江下流地區に於ける綜合戰果左の如し

敵遺棄死體、六一四三二
捕りよ、七二〇七　ろ獲品
迫撃砲六〇、その他多數

海の荒鷲
新封鎖地區猛爆

（廣東　九日同盟）

南支艦隊報道部發表によれば南支海軍飛行機隊は舊臘二十五日支那方面艦隊司令長官宣言による封鎖地區一帶を八日空襲、敵船舶、交通機關、各軍用倉庫群に對し痛爆を加へ多大の戰果を取めた

海南島で國共衝突

（開江十日同盟）國共相總裁增田次郎は兼ねて日發の業績不振に對する再建工策に惠念するとともに勇退の機會をねらつてゐたが、今回電力國家管理、再强化案が議會に提出されることになつてゐたのを機會に辭任の決意を固めこの程村田遞相に右の旨申し出たので、遞相もこれを諒と

増田日本發送電總裁辭任を決意
後任總裁は八田氏か

【東京十日同盟】日本發送電

立ちおくれの官界新体制
即時樹立を要望
大阪商工會議所から關係方面に陳情

【東京十日同盟】大阪商工會議所では九日時局對策委員會行ひ、經濟新體制と平衡して官界新體制樹立の確立を要望し、關係各方面に陳情することとなつた

一、各省の摩擦を除き、官廳關係の簡易化を計り、經濟行政機構として、戰時經濟省を放置すること

二、國防計畫の實現と關連して府縣の廢合を行ひ、統制經濟の円滑なる遂行に相應するやう、行政機構の編成替へをなすこと

三、中央、地方を通じ、官吏の頻繁なる更迭を避け、特に地方に於ける經濟關係官吏の在任期間を長期化し、諸般の事項に關し適當なる優遇の途を講ずること

四、改正文官任用制度の實施に際しては、その運用に万全を期し、生産、配給、貿易等の經濟調整事務には民間人を擢拔すること

その他に關し左の如き決議をした

一、太平洋艦は現在ハワイにある艦隊をもつて當てる

一、三艦隊司令長官には現巡洋艦隊司令長官ハズバンドキンメル海軍少將を任命、キンメル少將は同時に太平洋艦隊司令長官を兼任

一、現聯合艦隊司令長官リチャードソン提督は某要職に轉ずる

一、太西洋せう戦艦隊司令長官ノーネストル●キング海

米、ぼう大豫算めぐり
贊否兩論轟々
有力上院議員反對を聲明

【ワシントン九日同盟】ル大統領の豫算教書に對しては賛否兩樣の反響をまき起してゐるが、民主黨有力上院議員ホイーラーは

一時の戰爭熱に煽られてこの豫算案を鵜飲みにするならば、我々は更に尨大な軍費の爲納税しなければならない、この結果一體どうなるか、我々はもつと現實的に物を考へなければならない

【ハノイ九日同盟】佛印當局は佛印軍は七日カンボヂヤ國境のボナペを放棄し約五十キロを距つたシツホンに後退した旨確認した

又ラオス國境の砂漠及び山嶽地帶でもタイ軍は頗る有勢であ

泰軍斷然優勢
佛印當局敗退を確認
續々佛印領内に侵入

【ハノイ九日同盟】佛印當局は佛印軍は七日カンボヂヤ國境のボナペを放棄し約五十キロを距つたシツホンに後退した旨確認した

又ラオス國境の砂漠及び山嶽地帶でもタイ軍は頗る有勢であ

キキノヨイ！
高醤油
醸造元
高橋源吉
ハノヨイ！
聖市ルーア・ヴェルヴェル・ヴェルヴェル

HOTEL KYUSHÚ

移轉擴張御挨拶

謹しんで新春を賀し奉ります。
さて弊店事豫ねてより皆樣の御引立てを蒙り創立以來早くも七ヶ年の歳月を經て參りました。御蔭をもつて家事は日增に繁昌し顧客は常に滿員の狀態で到底皆樣の御滿足に應じ得ず、眞に遺憾に思ひ居りました處
今回コンデ・ド・ピニアール街七八（中矢商店の通り）に二十數部屋を含む閑靜廣大な家屋を借り受け、新春早々玆に移轉致しました申す迄もなく日本人街の中央に位し歸國手續、その他の諸手續きから市内見物、病院醫者等の御世話等はもとより頗る便利な點に加へて聖市の風景を一眸に集め、その眺望は一層皆樣の御滿足に副ふ事と存じます
從前以上のサービスを以つて皆樣の御來館を御待ち致して居りますから何卒倍舊に增して御愛顧御引立の程を伏して御願申上ます
先づは新春御挨拶を兼ね移轉擴張の御披露申上げます。

一月七日

各位

九州旅館
館主　水本順太
聖市コンデ・ド・ピニアール街七八
電話　二、七〇一二

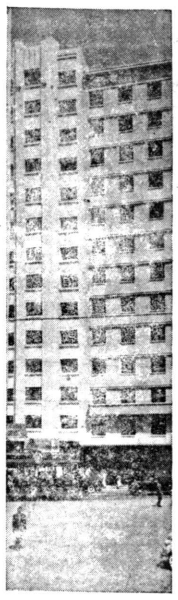
Dr. ZEPHIRINO DO AMARAL
Dr. CLAUDIO DO AMARAL
MEDICO - OPERADOR
Rua 7 de Abril 235, Tel. 4-7217 S. Paulo
聖市サンタカーザ病院長
並サンタリツタ病院内科部長
ドトール、ゼフリノ、ド、アマラル
ドトール、クラウヂノ、ド、アマラル
診察時間
午後二時—五時迄
聖市セッテ、デ街
アプリール
二三五四階
電話　四—五二七

Dr. Raul Jansen Ferreira
—Medico - Operador—
曹腸病、婦人病、尿道病手術
レントゲンフヰルム
ドトール
ラウル
ジヤンセン
フエレイラ
聖市キタンダ街
一六二一
三宿夫—七號室
電話二六四八
七一六九

Kojima
兒島寫眞館
ラルゴ、ド、テゾロ
二十一番（三階）
電話二—七五八七

大團結へ……さあ即進
各地から卅一代表
二月十四日＝日本商業會議所＝奥地代表者會議

聖市日本商業會議所では過般を開催する事に決した來奥地商工業代表會議の開催當日は午前八時半より地方代を企劃、奥各地三十一ケ所に理者の懇談會午後二時より中招待狀を發したが愈々來る二買、小賣、金融、雜貨の各部月十二日ジョンメンデス廣場門會議が開かれる筈でリオよブレディオ　七階の同りは特に勝山商務官の出席を會議所に於て地方代表者會議求める筈である



右により愈よ商權擁護、邦對し今後は從前通の補助は到品市場開拓の爲全伯邦人商底期待できない寧ろ此際在外工業者の一大團結運動が開同胞が進んで祖國に殉する覺始される譯だが此れを機に悟で母國依存い氣持を一掃し各奥地に支部設立が具體化自力更生に邁進さるゝことをする筈である（寫眞は會議所全景）

興亞の決意に感動
安瀨氏赤字のア奬學舍へ
私財を投げ出す

外務省より開き皇紀二千六百年祝典に命の達成に當り熱心に數回に參列する安瀨盛次氏を代表とり總領事わたつて當局に說明やら請願館への通して母國當局に補助を陳情すを行つたが當局から現在祖國報によれば一億同胞は打つて一丸ばアラサツーバ聯となり多大の犧牲を忍合日本人びつゝよく困苦缺乏にの會の經營たへ奉公の誠を盡して に係る奬居り農民は自ら作つた學舍アラサツバ學園は建築資穀物をさへ其消費をよ金不足額及其利子が八十コく制し又平和産業に從トスの赤字となつたが現下の事する者には祖先傳來不況で到底新規資金の募集も の家業を捨て國策に協不可能なので昨年八月十日聯力し官民共に極力消費盟管下の日本人會代表者會議書と關係資料を携行して其使つてゐる際であり在外同胞に

補助陳情を撤回

今年は斯いたき行

古野菊生

一、ただいま勤勞の餘暇に同僚の桶ヶ輝隆君と協力してパウロ●セツバルの「サントス候爵夫人」の邦譯をやつてをります。之が濟んだらグラサ●アラニヤの「カナン」やエウリコ●ヴエリシモの「野の百合を見よ」などにかかりたいと考へてをりますが、さあどの位出來ますかとにかく發表のことは思はず、ブラジルの好著をじつくり味ひながら、葡語の勉强をつづけたいともくろんでをります。

二、昨年と同樣、何か書けたら日本の雜誌に送らうと思ひます。忌憚ない批評が受けられるし、容赦なく沒書にもなりますのでブラジルの邦字刊行物に發表した時のやうにあとで何か損をしたやうな氣持にならずに濟みます

三、之は數年來の計劃ですがノロエステ線H植民地の開拓當時の事情を骨子とした小說を書上げたいと考へてをります

四、昨年もさうであつた如く今年も、私ほどのグルーブにも屬せず私ただ一人で大豆のやうにありたいと思つてをります。根瘤で勝手に地中の窒素を自給して成長するあの大豆のやうに

編輯部の御照會の趣旨には添はぬものかもしれませんが、けつきよく個人的なことばがりしかお答へ申上げられませんでどうぞあしからず

文藝

大選手と闘ふ在伯邦人選手團が
……各地で交歡陸上競技

成績後報

交歡陸上競技

在伯同胞選手團を迎へて來朝中の在伯邦人選手團島田屋着、市長の歡迎會後交歡陸手一行は十一月二十三日名古上競技大會に參加優勝したが屋、石田、松原、玉置、小田三十日には甲子園南運動場に於ける大阪、兵庫陸協共同主催の交歡陸上大會に參加してゐる、左記は大阪毎日の交歡競技の豫想記事である、競技

神宮國民體育大會にはるゝ〳〵ブラジルから參加、華々しき戰振りを見せ母國の人々を感激せしめた訪日在伯邦人選手一行は十一月二十三日名古屋に於て御引受し尙祖國の現狀と當局の御氣持は歸伯後在留同胞に充分說明すると言明した、この通報を外務省より受けた成瀨總領事代理も非常に感激し、かつては一切合切母國の資金に依存せず自力更生、獨立自營惑してゐる空氣さへ見えた在伯同胞の氣運に進みつつあるを喜び大統領令では外國人は伯地の視察および交歡競技をを引率されて二十七日夕京都より來阪、直に宿舍たる甲子園へ南部本社員、井上監督等に競技の豫想記事である、競技

大統領が外國人の金買入を禁止し尙祖國の立場は當市に於ては最近、スペイン人、人、トルコ人等の外國人は伯人の數量の金をも購入する可しとの報道は伯國人貴金屬商は當入する可しとの公言せる關係上人國人貴金屬商は當入する可しとの公言せる關係上人國人貴金屬商は當

外國人の金購入を禁止か

（バイア　七日）ヴアルガス

全員起立國歌奉唱
歸還力士の挨拶など
新体制下大相撲風景

【東京十日同盟】奉場所初日景だ、畫酒禁止とあつて名物の十日は前日午後二時からの酔漢は消えたが、通路階段前相撲で新體制の幕を切つての立見禁止は溢れる觀衆にあ落し午後四時半過から怒濤のさうつつもやられ、正午過如く入場した大衆部隊は文字ぎ早くも札止めとなつた、土通り大鎭象を埋め盡して冲夜俵は新體制下に相應しく終始の陣を張り土俵一杯に擴げられる力士の奮闘にわきあがる十倆取組みを三番殘し竹下協風の樣な聲援は眞に初日大衆會長の挨拶、次いで仲入り後デーならでは見られぬ熱狂風全員起立して國歌奉唱、宮

朗話なから

泰國將校が職工に
電池工場で實習開始

【京都十日同盟】電池を使用してゐる爲だと、京都市の日本電池その製作技術を習得する爲、西大路工場で、タイ同國政府から派遣されたもの國海軍將校プラで、近く下士官二名も來朝して參加するユールン少佐を團長とするクンダムノン大尉以下見習員四名が電池製造を實習することになり、この正月から毎日同工場に通勤、熱心に實習を行つてゐる、これはタイ國が三年前我が國から購入した潜水艦が今日まで一回の故障もなく活動してゐるのは優れた著

青年講習會

ノロ線　山猿生

例年の如く産組中央會主催のもとに中堅青年養成講習會が開かれてゐる、教授科目をは

△三段…松原一位一三米八〇

△走巾…松原二位六米五六
△棒高…石田一位三米七五
△スエーデンリレー…第一位

第二回テニス大會

聖市邦人テニス倶樂部では來十五日及び二十六日の兩日午前九時より第二回大會を云ひ、土の青年運動と云ひ日本のそれとは大部赴きを異にする樣に思える（私らに提供する樣に思える紙面が少ないので詳しい說明をきける）養鶏の技術も、農業簿記も、或は棉根本、海興鷲塚の三氏いづれかに申込まれたい

△棒高…石田一位三米七五
△スエーデンリレー…第一位

朗話なから

泰國將校が職工に
電池工場で實習開始

【京都十日同盟】電池を使用してゐる爲だと、京都市の日本電池その製作技術を習得する爲、西大路工場で、タイ國政府から派遣されたもの國海軍將校プラで、近く下士官二名も來朝して參加するユールン少佐を團長とするクンダムノン大尉以下見習員四名が電池製造を實習することになり、この正月から毎日同工場に通勤、熱心に實習を行つてゐる、これはタイ國が三年前我が國から購入した潜水艦が今日まで一回の故障もなく活動してゐるのは優れた著

青年講習會

ノロ線　山猿生

例年の如く産組中央會主催のもとに中堅青年養成講習會が開かれてゐる、教授科目をは

三角點

△三段…松原一位一三米八〇
△走巾…松原二位六米五六
△棒高…石田一位三米七五
△スエーデンリレー…第一位

第二回テニス大會

聖市邦人テニス倶樂部では來十五日及び二十六日の兩日午前九時より第二回大會を云ひ、土の青年運動と云ひ日本のそれとは大部赴きを異にする樣に思える（私らに提供する樣に思える紙面が少ないので詳しい說明をきける）養鶏の技術も、農業簿記も、或は棉根本、海興鷲塚の三氏いづれかに申込まれたい

モザイク

▲…來る十四日サントス入港のもんてびでを丸で中南米輸出組合理事古川大斧氏が來聖するが約一週間滯聖市場調査を行ふ

▲…一昨日の新聞で一旦緩急のつた場合一夜にして米軍十万を伯國領土に援助上陸せしめ得るといふヤンキーの發表を見たブラジル青年連、街の後處此處で馬鹿にするなと憤慨してゐた

▲…十二月末になつたら青田貸しを出すと某棉花會社から約束され欣こんでゐたマリリア奥の棉作邦人家族七ケ族は十二月末になつても青田貸しのア　字も出ずそうである

▲…ミナスとゴヤスの州境元旦には人間の原治し活見たいにカルルなど七草雜炊で過ごした、卅年來の不景氣現象の一つ

▲…日本病院、勤務するはずだつたパラナ醫大卒の大塚彌作醫學士君、日本病院では豫算がないと斷はられた

▲…北パラナ邦人集團地の何處かで開業することにしますとさる八日聖市をたつた

▲…一昨日同欄で邦人街三米へ輸出された人女巴の合戰を報じたが此の三人中にはモザイク子がマリリア奥の棉作邦人家族七ケ族は十二月末になつても青田貸しのア　字も出ずそうである

▲…ミナスとゴヤスの州境元旦には人間の原治し活見たいにカルルなど七草雜炊で過ごした、卅年來の不景氣現象の一つ

▲…日本病院、勤務するはずだつたパラナ醫大卒の大塚彌作醫學士君、日本病院では豫算がないと斷はられた

▲…北パラナ邦人集團地の何處かで開業することにしますとさる八日聖市をたつた

▲…一昨日同欄で邦人街三米へ輸出された人女巴の合戰を報じたが此

▲…さる八日リオ出帆の米船サンタ●マリア號でマモナ種子三百二十万キロが北米へ輸出された

▲ソ聯では女性の職場進出が盛んでモスクワのタクシー運轉手の三分の一は女、無線のオペ電車の運轉手も女性が多い、軍隊にも婦人の部門が生れ今では女性の關係せぬ職業は殆どなくなつた「遊ぶ階級」を全く抹殺してソ聯はいま擧國一致高度國防建設に大馬力をかけてゐるこれはモスクワ在勤より歸京した好富正臣書記官の新聞記者に語つた十產話

▲…アリアンサ移住地管理事務所々長として腕を揮つてゐた藤原茂氏は今回ブラ拓拓殖部事務主任として活やくすることになつた

▲…南米產業勤務の本鄕君といふよりサンパウロ野球チームのキヤツチーヤ本鄕カエンゾーで全伯蹴球選手權大會決勝戰パウリスタ對カリオカ第一回戰が催されてゐるが今回同氏は同氏の所屬する新制作派協會員全員の慰師藤島武二畫伯への感謝の念を一身に引受けて藤島畫伯の高さ八尺の大立像を製作することになつたが、二千六百年の美術界を飾る美しい師弟愛の結晶として評判になつてゐる、因みに藤島畫伯は人も知る「文化勳章の拜授者であり、東京美術學校教授、帝國藝術院會員でもり我が國藝術界の最高峯を行く巨匠である

▲…本十一日夜九時よりパカエンゾーと云ふ方が知れてゐるが同君の實兄本鄕新氏は我が國調刻界の中堅として知られてゐるが今回同氏は同氏の所屬する新制作派協會員全員の慰師藤島武二畫伯への感謝の念を一身に引受けて藤島畫伯の高さ八尺の大立像を製作することになつたが、二千六百年の美術界を飾る美しい師弟愛の結晶として評判になつてゐる、因みに藤島畫伯は人も知る「文化勳章の拜授者であり、東京美術學校教授、帝國藝術院會員でもり我が國藝術界の最高峯を行く巨匠である

▲…本十一日夜九時よりパカエンゾーで全伯蹴球選手權大會決勝戰パウリスタ對カリオカ第一回戰が催されてゐるが今度は入場料百五十コントスを突破するだらうと噂されてゐる

▲…聖市の擅球大會は明十二日タツコデオーロで催される希望者は横濱君迄、前號所報十九日ば誤り

▲…母國で評判になつたフランス映畫ジヤク●フエデー監督になる「旅する人々」が月曜日よりブロウドウエキシネマ館で上映される

オ信
（九日發）

△【ラバス八日AP】ボ國外相ゲチエロ日ヤ會議を十五日より二十五日に延期した理由に關し左の如く聲明した「同會議の延期はパラグアイ外相の提案に基くもので ボ國側が之を受諾したに過ぎない、ボリビアが米國の「懲罰內爲」「アジアの「歐洲の內爲」の著者ジョンガンサーに從つて同會議の失敗を計つたといふ外電は事實無根である」尙同相は十七日ラバス發

△【ラバス八日UP】ボ國政府は國會に對し國防强化のため三億ドル借款契約の承認を求めた

△昨年八月ハーヴアード大學のベランド教授によつて發見された新彗星は益太陽に接近しつゝあり、同彗星は三千哩の尾をひき居り北半球に於て肉眼を以て見られる

△【ラバス八日UP】ボ國外相ゲチエロ日ヤ會議を十五日より二十五日に延期した理由に關し左の如く聲明した「同會議の延期はパラグアイ外相の提案に基くもので ボ國側が之を受諾したに過ぎない、ボリビアが米國の「懲罰內爲」「アジアの「歐洲の內爲」の著者ジョンガンサーに從つて同會議の失敗を計つたといふ外電は事實無根である

△【リマ八日UP】ペル政府は國會に對し國防强化のため三億ドル借款契約の承認を求めた

△昨年八月ハーヴアード大學のベランド教授によつて發見された新彗星は益太陽に接近しつゝあり、同彗星は三千哩の尾をひき居り北半球に於て肉眼を以て見られる

△【ラバス八日AP】ボ國外相ゲチエロ日ヤ會議を十五日より二十五日に延期した理由に關し左の如く聲明した「同會議の延期はパラグアイ外相の提案に基くもので ボ國側が之を受諾したに過ぎない、ボリビアが米國の「懲罰內爲」「アジアの「歐洲の內爲」の著者ジョンガンサーに從つて同會議の失敗を計つたといふ外電は事實無根である

△【リマ八日UP】ペル政府は國會に對し國防强化のため三億ドル借款契約の承認を求めた

△デイアリオ●ダ●ノーチシ紙の發表するところによると今年收穫の米產豫想高は四百萬袋に達する見込みで現在のストツキは六十万袋に達する

△【ヴアルパライゾ八日UP】英商業使節は本日オルデウナ號で當港を出發したが以后商業使節は二班に分れ、一班はボリヴイアへ、他の一班はカヤオ（ペルー）へ向ふ事となつた由

△【メキシコ八日ロイテル】バデイーリヤ外相は記者團にたが右昨年度經費は三十七万エネズエラ、西印度諸島へ向ふはずで歸米の后、ラテンアメリカの內報を著す意向の由

NOTICIAS DE S. PAULO
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)
Nº 2174 SABADO 11 DE JANEIRO DE 1941

無籍者ベンゲット病民

大石生

マニラに初めての上陸以來常にどんな困苦の中にも「何糞」と立ち上らねばおかせなかつた、内心でいつも火を炬く樣な激しい思ひは拘此奴らの此の顏つきのさせる業だと安中はも少しで、その男達の喉首にかみつくところであつた

負けて悄々と歸る途中、立花も安中もめつたに激情を表面に現したことのない高部まで「口惜しいなあ…」と聲を放つて泣いたのであつた

岸井や他の裏切り者共を思ふ存分なぐりつける間も「賣國奴！お前らにはかうも祖國を侮辱されてそも口惜しさが判らんのか、畜生にも外道にも劣つた奴らとはお前達の事だ。光輝ある日本帝國の臣民らしくなぜ心を一つにして彼奴らに勝つ迄俺達と一緒に闘つてはくれんのだ、外道！畜生！」

立花の小柄な體からは、焔が立上るかと思ふ位の激しい憤怒が燃え立つた

此處迄來て、初めて自分達の裏切者達が、血を分けた同胞であるといふ事は、考えるだに辛いことであつた

朝に晩に、此の長い縛られた生活の中で、いつも後に前に彼らと共に歩いてきた日本人であることは悲しい事であつた

互ひに、日本人だと思ひ、それ故にこそ、此の山を日本人の手で完成させて今迄い屈辱をきれいに一つの力と「事實」でにぎあげてやらふともえる樣な信頼で互ひに兄弟だと思ひあつた事が裏切らそた皆には口惜しかつた

最初こそ、妙に尻ごみしたり、恐れたり、躊躇したりしてゐた連中も今では山全體一つの固りの樣に人間として生きねばならぬ民族の意慾にはつきりと目を覺ましてそれを一人でも裏切る奴があつたと知つたら氣の荒い山の勞働者達は決して彼らを生かしてはおかないことはしれてゐた

夜にまぎれてこそ〳〵と彼らが立ち去つたのを知つた時に皆は口惜しがつたが何故かほつと救はれた樣な安堵を感じたのも事實であつた

「あんな魂の腐つた奴らはさつさと逃してしまえ！」

立花はさういひ

「逃げた者は逃げた者ぢや、追ふなよ、安中やあ…」

と、高部は時々さういつた

勞働者達のその問題の後大工達の爭議もどうにか日本から渡つて來た本職の大工とベンゲットで生れた即製の大工で、二三段の等級をつける事になつて給料もそれに依つて定められる事になり、最低日給も二比或は二比五十仙といふ事に落着して食事は依然として彼奴らに勝つ迄俺達と一緒にがらその間の中間搾取も取り止めとなつてる事は一段落を告たわけであつた

ベンゲットにはやつとどうにか形の上の平靜が戻つてきた

バギオへの工事も後幾月もなく完成の曉をみせるであらう

千五百人の移民群はその半數になつたが人々には唯一日も早く完成へ、完成へとせつせと泥を掘り、泥を運び、橋を架け、延々と續く道路を重い架橋材料を運び石をかついで地蟻の樣に働くのであつた

そして昨日から今日にかけ目まぐるしく風雨の暴れ方は次第にその度を強くして行く

油斷すると、天幕を吹きとばされ相で皆の方には早目に工事を休んで、暴抗を強く打ち込んだり、ローブを二本にしたり、それをやる間も體を吹きとばされさうで何べんか地にしがみつき、立木の幹に抱きついては動けずにちつと立ちすくんだ

びゆう〳〵と天幕の襞や天井をめり動かしてゆく激しい風の中で、政三はせつせと石を運んで來てはその邊りに重しをして歩いた

源助の熱病は長い事かかりやつと熱は去つたが、後の衰弱はひどくてまるつきり生きてゐるのが不思議な位のひからびた樣にやせてしまつてゐた

今日は危いか、明日は駄目かさう思つてづつときながら何か此の世に彼を引きとめる執着の念でも殘つてゐる樣にその見えぬ糸に引かれてでも一人でも裏切る奴があつたとゐる樣に源助は死なずに生きてゐる

西園寺公を偲ぶ

母國ニュース

信念の九十二年

一生を支配した外遊生活

「…わしの養母はわしが九つの時になくなつたから、その時から家の主人となり、家來どもに護られて我ままに育ち十七、八の生意氣盛りに維新の風雲に際會し、ほどなく西洋に遊び歸朝してからも放浪生活に情を縱にして家を成さなかつたから正直に白狀すると、不良少年の生活が今日まで讃績してゐるのだよ」とかつて西園寺公は語られたことがあるといふ

公の公的生活は孝明天皇の嘉永六年年齒僅かに六歳で近習になつてから元老として死ぬまで明治、大正、昭和四代にわたつて實に九十二年の長きにおよんでゐる

公の生きたこの時代が、わが國史の上に占めた意義を考へるとき公はそれ自體

●●輝かしい●●●

「歴史」であることはいふまでもなけれども公自身もいふ通り公ほどまたその私的生活をほしいままの信念に生き享受に生きた人も稀でないかと思はれる西園寺公はその公的生活の長さと重さに拘らず、いまだかつて一度も一世をひきゐるが如き偉人、英雄、豪傑といつたはなばなしさをもつて目されることなく、むしろ隱然たる日本の政治の「背光」となりただ自らは一個の進歩的な人間として生きようとしたのである

◇

公の傳記の最も華々しいページは明治維新をもつてはじまるのは當然のことだが「劇」にも仕組まれてゐるのが有名な小御所會議の件である

大政を奉還した德川慶喜をようし明治元年三月三万〳〵幕兵は京都に入らうとした

朝廷を護る薩長の兵は僅かに三千、このとき慶喜の兵と薩長の兵とが開戰した際はこれを私闘と見なすがよいといふ意見が出たこれは薩長の兵が敗れた時は朝廷では責任は持たない、といふ虫のよい意見で大勢これに傾くかと見えた

この時突如として放たれたのが「その論には斷然反對です」といふ聲！「もしこの一髮千鈞の場合朝廷でこれを私闘と見なすやうなことがあれば天下の大事これより去つてしまふであらう」といひ放つたのが西園寺公望であつた、右大臣となつたものである

◇

公は逸早く目覺めた時代の兒であつた、西園寺家がよくいはれるやうに正妻をめとれぬ家柄といふのはうそらしいけれども公家の常として、固い因習に閉ぢこめられてゐた倉が私を小僧と呼んだのにので公は幼くして勇氣と聰明は驚いた、岩倉の家はすつとをもつてその殼を破つた、と門地も低く私を小僧などと呼ぶはずはなかつたのだがよほどうれしかつたとみえて思はず聲を出したに違ひない

と公自らこの時のことを語られたといふ、後に日露戰役の講和條約について

●●國論沸騰●●● 帝都に燒討まで起つた騷然たる中に政友會總裁として黨議の壇上と演說した、公の正義の前に何者をも恐れぬ力強い信念はこの双葉より出でてまさに巨木となつたものである

◇

公は生涯を大觀するとやはりフランス留學がその華である」と公の傳記者として許された小泉三申翁は述べてゐる、やがて政黨總裁となり、一國の宰相となり、元老となることも國のあわだつ時代の波濤をあとにして來たばかりのこの聰明な貴公子の眼はさらにはげしい時代の潮流にさらされねばならなかつた

公はパリで當時進歩的な政治學者として知られたエミール●アコラスの門に入つたが、後年「陶庵隨筆」で「余が少時巴里にあるや多く交遊を主として一事を勉めざるをみてアコラス翁余に告げて曰く、君が悠遊もまた已に足りしならん、悠遊必しも不可ならずといへども君門閥一世に秀づ、何ぞ國に歸りて政治を行はざると余曰く師よわれ思ふに凡そ政治家たらんと欲するものは常にその思ふところをいふ能はず、いふところを行ふ能はず、虛言を以て人を欺くは是余のたゆるところにあらず、と翁侍然として曰く君が國に於ては

●●政治家は●●● 時に虛言をし、時に僞善を行うてもつて足れりとするか、我が佛國の如きは凡そ政治家は時に虛實を語らざるなりと哄然大笑す、余を上演したり豊な文藻を示してゐる。明治四十一年第一次西園寺內閣を組織して間もなく宰相として公は一夜隅河臺の私邸に森外、泉鏡花、田山花袋、島崎藤村ら當時一流の文人を招いて「雨聲會」と名づけ話題をつくつたがこれは決して偶然の思ひつきではない、今日公を知るほどの者は公を「風流一眞骨頂」と呼ぶに躊躇しないがこれこそ公がパリの多角的な體驗から築き上げた生活態度だつた、そしてはなやかな政界の生活をもまた靜かな學漁莊の生活を通じて終始變らなかつた公の風流は裝飾品ではなく生活力である、それは信念の軸がたい境地だつた、二●二六事件のとき杖にすがつて宮中にかけつけた老公を帝都にみる最後の姿としてつひに學漁莊から出なかつた西園寺公は再び「維新」の名を呼ぶ今日のなの聲を何と聞じてゐたであらうか、それはもはやきくことが出來ずに終つた

◇……◇

□……□

【大正十一月二十五日】

東大では時代に即應した「大学新體制」を確立する爲め平賀總長を中心にかねてから協議の旨を旨べたが、これが具體的方法として差當り一、學校と家庭を連絡するため各學生の家庭代表者（假稱）を作り學校はこの代表と諸事について連絡をとる一、卒業および入學に際してはその式場へ家庭代表者を招待する一、學生の入學に際しては宣誓式を行ふ

ことに決定し、また新學會の組織は學生の心身鍛錬と集團的訓練を目的に教職員、學生全部が加入して師弟同行の實を擧げようといふので會長は總長があたり、それを中心にその諸問機體として各學部から一名づつの教授、それに會長指名の若干名から成り中央審議會實行機關たる中央事業部で全部的な行事その他を行ひ現在ある綠會（法）鐵門クラブ（醫）丁友會（工）といつたやうな各學部學友會は存置するが現狀より一層活潑にさせる方針である

中央事業部には教養、鍛錬厚生の三部を設けるほか學生の下意上達機關として學生課と各學部學友會委員二名づつから成る學生連絡委員會が設置されるが現在あるだけとかいふ趣味團體も希望があれば教養部に繰入れる意向である

このほかたとへば公德を重んぜよとか禮儀を守れとかいつたやうな「學生の心得」も機會をみて制定する模樣である

平賀總長談　先般天皇陛下の行幸の忝うし全學を挙げて感激しましたが全般的にこんな方向への機運が動いてゐるのでよくまとまりました、新體制といつても何も新奇なものでなくただ本然のものになつたわけです何分八千の學生なのでどこまで徹底するかわかりませんが出來るだけのことはやる覺悟です

"家族的大學"へ

東大……新體制の出發

【大正十一月二十五日】

東大では時代に即應した「大学新體制」を確立する爲め平賀總長を中心にかねてから協議の旨を旨べたが、これが具體的方法として差當り一、學校と家庭を連絡するため各學生の家庭代表者（假稱）を作り學校はこの代表と諸事について連絡をとる一、卒業および入學に際してはその式場へ家庭代表者を招待する一、學生の入學に際しては宣誓式を行ふ

ことに決定し、また新學會の組織は學生の心身鍛錬と集團的訓練を目的に教職員、學生全部が加入して師弟同行の實を擧げようといふので會長は總長があたり、それを中心にその諸問機體として各學部から一名づつの教授、それに會長指名の若干名から成り中央審議會實行機關たる中央事業部で全部的な行事その他を行ひ現在ある綠會（法）鐵門クラブ（醫）丁友會（工）といつたやうな各學部學友會は存置するが現狀より一層活潑にさせる方針である

中央事業部には教養、鍛錬厚生の三部を設けるほか學生の下意上達機關として學生課と各學部學友會委員二名づつから成る學生連絡委員會が設置されるが現在あるだけとかいふ趣味團體も希望があれば教養部に繰入れる意向である

このほかたとへば公德を重んぜよとか禮儀を守れとかいつたやうな「學生の心得」も機會をみて制定する模樣である

平賀總長談　先般天皇陛下の行幸の忝うし全學を挙げて感激しましたが全般的にこんな方向への機運が動いてゐるのでよくまとまりました、新體制といつても何も新奇なものでなくただ本然のものになつたわけです何分八千の學生なのでどこまで徹底するかわかりませんが出來るだけのことはやる覺悟です

哀れ馬占山、命旦夕

馬占山はその後流れ流れて最近でば包頭西南哈拉寨附近で殘る僅かの手兵をもつてなほも氣息奄々たる抗日行動を續けてゐるが、長い間の敗戰で部下がホームシックにかかつてゐると、滿洲國、隆化などで全部浮足だち、このほど馬占山軍幹部孫武器が缺乏し給與が全然ないこと、馬占山の「英雄」の假面がはがれたことなどで全部浮足だち、このほど馬占山軍幹部孫紺灣中國ちが黃河を渡つてゐるが黃河が結氷すれば兵の脫出が一層容易となるのでますます歸順兵が增加するものと見られてをり、かつての抗日英雄馬占山の運命はもはや旦夕に迫つた

【大正十一月二十三日】

△△△

ASSINATURAS
Ano - - - - - - - - - - - - 40$000
Semestre - - - - - - - - - 20$000
Numero do dia - - - - - - - $500
Exterior, ano - - - - - - - 100$000

NOTICIAS DE S. PAULO

DIRETORA PROPRIETARIA
CELINA KOWYAMA

ANO XX | Redação - Administração: RUA CONDE DE SÃO JOAQUIM, 93 | S. PAULO - Sabado 11 de Janeiro de 1941 | TELEFONE, 7-0447 CAIXA POSTAL, 2765 | N. 2174

DR. M. KOBAYASHI
小林美登利殿
R. GAR. BÃO. BUENO 407

Aguarda-se importantes medidas de reerguimento da lavoura

Cada vez mais animadora a situação do nosso café - O preço minimo - Armazens Gerais

Financiamento da lavoura - Para melhoria dos nossos rebanhos

Ao iniciar os trabalhos da reunião semanal da Sociedade Rural Brasileira, o seu presidente, sr. Alberto Whately, congratulou-se com os fazendeiros pela posição do mercado de café cujas cotações subiram em Nova York, de 12 a 15 pontos, fechando firme.

Esse auspicioso indicio dos rumos seguros por onde o café ia-se orientando devia bem, a seu vêr, ser lembrado com indiscutivel confiança num futuro capaz de reerguer a economia cafeeira.

Decorria evidentemente, essa marcha ascendente do mercado, como primeira consequência do ultimo acórdo entre os países produtores e o comercio norte americano.

O PREÇO MINIMO

Comunicou, o sr. Whately, dever seguir hoje para o Rio de Janeiro onde vai tomar parte nas determinações para a fixação do preço mínimo do nosso café. Conforme foi já noticiado pelo "Noticias de São Paulo" esse preço, segundo declarações do presidente da Rural e Associação dos Lavradores deverá ser de cerca de 8 centavos por libra peso para o tipo 4, duro, o que corresponderá a mais ou menos 120 ou 130 mil réis por saca no interior.

TRANSFORMAÇÃO DOS REGULADORES

O sr. Whately informou aos lavradores presentes que conforme convite feito pelo sr. Torres Filho, irá tomar parte nos trabalhos de transformação dos armazens reguladores de café em armazens gerais, cujo projéto, acha-se em estudo no Ministério da Agricultura e é possivel que a proxima safra cafeeira venha ser trabalhada de acôrdo com a nóva organização.

FINANCIAMENTO

Vai, ainda, o presidente da Rural tratar do financiamento da lavoura.

Estando sacrificados varios mercados importadores de café e algodão, em virtude da guerra torna-se necessario financiar o produto que restará em "stock" para ser aguardada melhor oportunidade.

REGISTRO DO GADO ZEBÚ

Estando presente à reunião o presidente do Sindicato de Invernistas de Barretos, tratou-se da próxima organisação do registro genealogico do gado zebú em São Paulo, tendo sido trocadas impressões sobre o criterio mais sadio para se promover a melhoria do rebanho nacional.

AINDA O IMPOSTO DE ESTRADA DE RODAGEM

Pelo sr. João de Faria, de Franca, foi pedida uma providencia urgente junto ao Departamento das Municipalidades, no sentido de serem sustadas as exigencias de pagamento da taxa de estrada de rodagem. Conforme foi decidido pelo governo, o assunto está dependendo de regulamentação, estando suspensos os pagamentos nesse sentido. Entretanto certos prefeitos mostram se intransigentes, ameaçando de execução os municipios, sem dar atenção ao que está determinado.

São Paulo será grande produtor de Rami

declara o sr. Franklin Viégas, chefe do Fomento Agricola em S. Paulo

Segundo recentes declarações do Presidente Vargas ao ministro Fernando Costa, serão proporcionadas ao Ministério da Agricultura todos os recursos necessarios ao prosseguimento da campanha em favor da produção de fibras no país.

A decisão do governo obedece a um plano que foi traçado, em virtude não só da abundancia dessa matéria prima e condições de eficiente cultivo da juta, da ramie e outras de grande valor comercial, cultivadas em vários países, mas tambem e sobretudo em consequência da dificuldade cada vez maior de importação desses artigos, cuja aquisição anual se eleva a mais de 80 mil contos de réis.

Essa campanha teve a melhor acolhida por parte da lavoura nacional, que passou a colaborar ativamente com os poderes públicos, o que resultou num acréscimo apreciavel da produção de fibras como do caroá, guaxima, paçoula de São Francisco, juta, rami etc.

Ouvido pela agencia Nacional, o agrônomo Franklin Viégas, chefe da Secção de Fomento Agrícola Federal em São Paulo, declarou ser realmente intenso o interesse que se observa entre os lavradores paulistas em torno da cultura de plantas texteis, quer das que são nativas no Brasil, quer das que nos são exóticas, mas adaptaveis às nossas terras, havendo mesmo no Estado muitas culturas de rami, sisal, formio, hibiscus e papoula de São Francisco, estas duas últimas, nativas alí.

Prosseguindo, o referido técnico salientou que essa Secção do Ministério da Agricultura encontrou na lavoura um ambiente propicio à efetivação das medidas que planejou, tendentes a criar em São Paulo uma grande produção de fibras, como é desejo do Presidente Vargas e do ministro Fernando Costa. Só assim se poude mesmo - acrescentou - num primeiro ano de campanha, distribuir para plantio cerca de 200 mil quilos de raizes de rami, considerada pelos técnicos mais renomados como a fibra do futuro.

Alem da distribuição de mudas, foram adquiridas maquinas de capacidades diferentes para o beneficiamento das fibras, as quais serão cedidas aos lavradores a titulo de empréstimo ou vendidas a prestações a longo prazo.

No que respeita ao sisal, planta que produz uma fibra tambem de grandes possibilidades comerciais - assinalou o sr. Franklin Viégas - foi instalado um campo para o fomento dessa cultura pela prefeitura Municipal Araraquara, em cooperação com a alludida Secção, sendo ali plantados mais de 500 mil bulbilhos desse vegetal, perfeito sucedâneo da juta na indústria da sacaria e conhecido no Brasil mais pelo nome de agave.

Finalizou suas importantes declarações, informando que será ainda incrementado o cultivo de outras plantas capazes de produzir fibras dos mais elevados indices de elasticidade e resistencia, contando para isso o Ministério da Agricultura, com o apoio decidido e valioso do Presidente Getulio Vargas.

Promissor o desenvolvimento do Nucleo de Santa Cruz

A nova organisação da Divisão de Terras e Colonização que foi estabelecida na reforma elaborada no Ministério da Agricultura pelo ministro Fernando Costa determinou uma melhor distribuição de suas atividades, concorrendo, de tal arte, para um maior rendimento dos trabalhos que lhes são afetos. Ficou o serviço em condições de atender à sua finalidade promovendo a colonização de vários trechos do território nacional.

Tiveram tal intensidade as obras relativas ao aproveitamento das terras saneadas da baixada fluminense com a colonização de elementos humanos capazes de uma atividade agricola proveitosa.

Os resultados obtidos veem demonstrando que a prática da pequena lavoura, protegida pelo regimem da propriedade rural, fará da Baixada, em futuro próximo, o maior celeiro desta capital.

O Nucleo Colonial de Sta. Cruz por exemplo, apresentou um promissor desenvolvimento na parte avicola, pois já em 1933 contava com mais de 21 000 aves, contra menos de 7.000 no ano anterior.

Com a nova orientação dada, a citricultura, que constituia a quasi totalidade das culturas, vai, aos poucos, cedendo lugar às chamadas pequenas cultuas para a produção de legumes e hortaliças, assim como à cultura de batata inglesa, milho, arroz e cana, fazendo-se, ainda em alguns lotes a criação de gado vacum para a produção de leite, que encontra bom mercado local. A criação de outros animais uteis à economia colonia é tambem praticada, na generalidade dos lotes. Tambem a sericicultura será alí incrementada.

O perigo que ameaça as nossas culturas de batata

A batata, nos nossos principais centros de produção, está sujeita a doenças muito sérias que causam a degenerencia do tipo e diminuição progressiva da produção.

A degenerencia resulta de uma doença provocada por virus, que, no caso da batata, se propaga ativamente através do tuberculo; daí a facilidade de sua difusão e infeção cada vez mais intensificada, determinando o decrescimo da produção.

Por isso, é recomendavel que o lavrador evite a multiplicação continuada, durante muitas gerações, de sementes tubérculos oriundas de sua própria colheita ou compradas, ainda que estas se distinguam por ótimas qualidades. Excusado é, pois, atenuar a necessidade de sua renovação. Quando é adotado o primeiro processo, as plantas se caraterizam por um aspecto raquitico, com as folhas enrugadas e uma produção reduzidissima. No geral, porem, verifica-se que o lavrador póde multiplicar tuberculos sementes novos no maximo duas vezes do mesmo terreno. Tomando em consideração que se plantam em S. Paulo, duas gerações de batatinhas por ano, é justo admitir que o agricultor, que cuida bem dos seus batatais, seja levado a adquirir quasi todos os anos novos tubérculos-sementes. É claro que hoje em dia, da Europa, só chegam tubérculos-sementes em quantidade insuficiente e por preços muito elevados. E o grave obstáculo que a cultura da batatinha atualmente tem que enfrentar e que, com a eventual demora do conflito europeu, se tornará um perigo muito sério.

Por recomendação do ministro da Agricultura, o agrônomo Gastão de Faria, diretor do Fomento da Produção Vegetal, mantem se ao par das experiencias que o Instituto Biológico de S. Paulo vem efetuando ha anos, experiencias que visam verificar em diferentes zonas do Estado casos de degenerencia das batatinhas. Ou rossim, procura o Ministério da Agricultura, por todos os meios e modos, facilitar a importação de tuberculos-sementes.

Finalidades da propaganda agricola no Brasil

Reconhecendo a importante função da publicidade agricola, na renovação dos metodos de produção, no encaminhamento de energias e capacidades novas para o trabalho rural e na divulgação das realizações oficiais no setor da Agricultura, o Governo criou o Serviço de Informação Agricola, que em perfeita e permanente articulação com o Departamento de Imprensa e Propaganda, vem, nesse sentido, desenvolvendo proveitosa atividade, mercê da indispensavel e eficiente colaboração da imprensa e radio do país.

O Serviço de Informação Agricola remeteu ao DIP, para ampla divulgação, durante o ano de 1940, a media de 8 notas diarias ou sejam 2.400 notas em 12 meses, sobre o desenrolar das nossas atividades econômicas, notadamente sobre a campanha do trigo, fibras texteis, gasogênio, oleaginosas, clubes agricolas, fomento animal, pesca, mecanização da lavoura, adubação, irrigação, experimentação agricola, etc. No triênio 38/40 até novembro, as oficinas do referido Serviço, alem de vultuoso material de expediente, produziram 406 publicações várias, com mais de um milhão de exemplares e mais 328.070 exemplares litografados. No mesmo periodo, a distribuição gratuita de publicações a 64.492 interessados no país e no extrangeiro somou 511.936 exemplares. A produção de filmes educativos, num registro animado das realizações do Ministério da Agricultura e tambem com o objetivo de racionalizar nossos métodos de produção, é outra atividade benéfica incumbida ao S. I. A. que, nos três últimos anos, confeccionou 87 filmes em 382 cópias, com 105 mil metros aproximadamente.

Ampliando suas finalidades, mantem correspondentes nas capitais e cidades, orienta e ampára centenas de clubes agricolas, imprime nova orientação aos produtores, mediante folhetos modernos de autoria de técnicos do Ministério, mantendo, para sua importante tarefa, intima entrosagem com todos os orgãos do Ministério da Agricultura, atualmente um conjunto de serviços de ação objetiva, capaz de promover o desenvolvimento racional da produção agro-pecuária e extrativa do Brasil.

«SISAL, sua cultura e industrialisação»

Dr. Irvino W. Tibiriça

(Seção de Fomento Agricola de S. Paulo)

Capitulo VIII

Uma máquina moderna de 3.000 quilos diários, completamente montada em condições de funcionar, custa hoje cerca de duzentos contos de réis. Para os pequenos agricultores a solução seria a organização de cooperativas. Os Governos Estaduais poderiam financiar a montagem das usinas e cobrar uma pequena taxa de amortização até final cobertura do dinheiro adiantado. Com este dinheiro recolhido o Governo trataria de formar um novo grupo cooperativo. Uma vez paga a usina, cobrar-se-ia uma taxa menor para o custeio e reparação da máquina, isto é, concertos e substituição de peças gastas.

Uma linha Decauville com pequenas locomotivas feitas de velhos chassis de caminhões a oleo Diesel transportaria as folhas para a usina. Estabelecer-se-ia um preço por peso das folhas entregues nos pontos de recepção, ou estações da linha Decauville. Os cooperadores pagariam uma taxa módica mas ganhariam muito mais porque a capacidade da usina permitiria uma produção de Sisal muito maior do que eles poderiam desfibrar em suas pequenas e anti-econômicas máquinas, alem de receberem os auxilios técnicos de um agrônomo pago pelo Estado.

O enfardamento mecânico e seleção das fibras em tipos comerciais não estão ao alcance dos pequenos agricultores isoladamente. Eles estariam à mercê dos intermediários que pagariam um preço reduzido para se cobrirem dos esgastos. Só a cooperação poderia organizar o produto em condições de competir no mercado interno e no dos nossos visinhos mais próximos e talvez mesmo de alguns países da Europa.

Com a conflagração européia é possivel colocar no mercado interno e mesmo exportar fibras de inferior qualidade. Mas se quisermos reter os mercados depois da guerra é indispensavel que cuidemos desde já de produzir fibras ótimas e manter rigorosa seleção dos tipos.

FIM

YAMASHITA LINE
山下汽船株式會社
定期往航 極東=紐育=南米 定期復航 南米=羅府=極東
太平洋岸、フイリピン行荷物輸送引受申候
▷ 使用船一万噸型新造優秀貨物船 ◁
山月丸 山浦丸 山風丸
山霧丸 山里丸 山彦丸
詳細は下記弊社代理店にお問合せ下され度候
【貨物船に付き旅客運送は乍勝手御斷り申上候】
サントス市 JOHNSON LINE AGENCIES
Praça da Republica, 22 Telephones. 4694 5107 = Santos
聖市 L. FIGUEIREDO & CIA.
Rua Libero Badaró, 2 = Phone, 2 7125 = São Paulo

CASA HIRATA
C. Postal, 47 - Promissão
皆様!! 御注意
信用程恐ろしきものはない
—賣買は現金に限る—
平田商會
平田千嘉藏
プロミツソン町 電話 四一二

◉洋裁の勉學は實力養成隨一の稱ある
信愛洋裁技藝學校
聖市タマンダレ街一五七

電話 3884
カンピーナス
コースタアギルア街四二二
ナガト旅館
長戸仁

ストスパ
中央旅館
館主 榎常孝

Y. KINJO
Cirurgião-Dentista
齒科醫
金城山戸
R. Christovão Colombo 3- 2-andar
Telephone, 2 6058 - São Paulo

二葉屋洋服店
駄原辰雄
聖市コンセレイロ・フルタード一四二
▽見習數名入用

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA LTDA.
(The Yokohama Specie Bank, Ltda.)
Rua da Candelaria No. 23
Caixa Postal, 380 — Rio de Janeiro
切り取り手紙へ
◉鄉里送金
御鄉里への御送金は送金人一人、受取人一人につき毎月二コントス迄許可せられます。送金特別税五分(五%)は弊店への御送金額中より差引き申受けます
鄉里送金爲替は爲替管理法上特別自由爲替と申しまして一般の爲替取引から隔離されて居りますので相場も一般の取引相場とは關係のない個別のものであることを御承知置き御願申上ます
◉伯貨預金
定期預金 六ヶ月以上 年三分半
特別當座預金 年二分
外に當座預金、小切手もありますが日本貨預金は取扱ひ致しません
横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

CAPITAL 1000:000$
BANCO AMERICA DO SUL
特殊積立
定額
据置
利子毎月拂
一人一個
出さなくてはならぬ
早達!
お申越しください
事を成す
ウントストンの
貯蓄より!!
南米銀行
本店 S.PAULO-PRAÇA DA SE.393. C.POSTAL.555. Tel. 3-5161

安瀬
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA-N.O.B.
安瀬商會
本店 アラサツーバ市
▽事務所、精米所、珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンバ
内外雜貨、食料品、珈琲
フバ工場
支店 ヴァルパライゾ
精米所 郵函一

Akaki & Cia.
Rua Sta. Rosa, 473
S. PAULO
農産物賣買
委托販賣
赤木商會
電話 二—九〇八一
郵函 一八九七